

MRI 評価基準

評価項目		配点	
1.MRI本体関連	1.マグネット・ガントリーシステムについて	1 マグネット形式は超電導で静磁場強度は3.0Tであること。	40
		2 マグネット重量はヘリウム充填時において、設置場所に耐える重量であること。	
		3 内径は可能な限り広い仕様であり、ガントリー内は安全使用のために、双方向のインターコム、照明、換気システムが装備されていること。	
		4 液体ヘリウムの補充はない仕様であること。	
		5 ガントリー前面に患者情報やポジショニングをタッチパネル操作で操作・確認が可能であり、撮像プロトコルに情報が反映されること。	
	2.傾斜磁場システムについて	1 最大傾斜磁場強度は、最大44mT/m以上の出力が可能であること。	60
		2 最大傾斜磁場スリューレートは、最大200mT/m/ms以上であること。	
		3 検査音の静音対策または静音撮像法等の技術を有すること。	
	3.患者寝台について	1 患者寝台は耐荷重、移動等安全な構造であること。	60
		2 脱着式もしくはトロリー式であり、緊急時にも配慮された機能を有すること。	
3 患者寝台の最低高は、できるだけ低い構造であること。			
4.RFシステム・コイルについて	1 フルデジタルに対応し、RF送信出力も安定して行えること。また、必要なRFアンプ数を有すること。	30	
	2 各検査専用コイルを有し、チャンネル数もコイルに適している構造であること		
	3 全身撮影等広い撮像にも対応できるシステムであること		
5.制御処理システム	1 画像再構成時間は、1秒間当たり56,000枚以上の処理が可能であること。	30	
	2 画像変換・抽出において、jpg、avi等に変換可能でDVD-Rに抽出可能なこと		
6.操作コンソール	1 カラーモニター構成でオートボイス機能（多言語）を有すること。	20	
	2 各検査領域において、3次元の位置決め画像の解剖認識技術から、撮像領域を自動で設定できる機能を有すること。		
7.撮像性能	1 撮像視野が広く、画像スライス厚も診療支援にあった撮像が可能であること。	30	
	2 撮像マトリクスは、最大1024以上可能であること。		
	3 最短TRは0.8ms以下、最短TEは0.2ms以下の設定が可能であること。		
8.撮像機能および手法	1 心電同期、脈波同期、呼吸同期、横隔膜同期を有すること。	30	
	2 パラレルイメージングや圧縮センシング法などの高速撮影が可能であること。		
	3 体動補正や金属アーチファクト低減が可能であること。		
9.撮像アプリケーション	1 各検査領域での有効なアプリケーション機能を有すること。	30	
	2 小児領域での有効なアプリケーション機能を有すること。または応用が可能なこと。		
10.本体コンソール画像処理について	1 MPR等の画像処理が可能であり、かつ、加算・減算等の計算処理が可能であること。	20	
	2 各画像をつなぎ合わせる機能、カラー解析、マップ表示等が可能なこと。		
	3 Deep Learning技術による画像再構成技術を有すること。		
2.周辺機器について	1 造影剤自動注入装置（2筒式で造影剤と生理食塩水を連続して注入できる仕様）を1式有すること。	10	
	2 周辺機材等は、3.0Tに対応可能であること。		
3.付帯提案について	1 本院のRIS・PACS・ワークステーション・検像端末等へのNW接続が可能なこと。	60	
	2 本院の要望するMRI装置の稼働に必要な改修工事を実施すること。		
	3 機械室は極力コンパクトにして、患者導線・追加改修工事等を想定していること。		
4.販売実績・サービス体制・保守体制について	1 製造販売業者（販売代理店を含む）が販売実績を有すること	50	
	2 年間を通じて24時間体制の連絡体制が整備されていること。		
	3 障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有すること。		
5.整備スケジュールについて	1 期日までに設置完了し、現状2台のMRIを運用しながら設置可能なこと。	50	
	2 搬入・排出・設置に関して、関係法令等が遵守されていること。		
6.サポート体制について	1 導入後、教育訓練・操作方法・アプリケーション使用方法を継続してサポートできる体制が可能なこと。	60	
	2 機器本体、アプリケーション等の定期的なバージョンアップについて、本院が実施しやすい方法であること。		
7.自由提案	1 上記以外で、本院経営改善、患者サービス向上、検査運用等に対する提案	70	
技術評価点		650	
価格評価点		350	
総合評価点		1,000	